

真剣に考えないといけないですね。

とはいえ、学部毎には相互交流に取り組んでいるケースもあります。商学部はオリエンテーションの時に、フィールドトリップの途中で瀬戸キャンパスに立ち寄ることを実施しています。

## 同窓会ネットワークを 駆使し、さらに強い絆を



「キャンパスに立ち寄り、相互交流」という意味では同窓会も積極的に取り組まないといけないところが多々ありますね。

大学側から同窓会への要望等、忌憚のないご意見をお聞かせください。

**学長** この春、同窓会のメンバーで構成される「NGUエグゼクティブ同友会」の方々にゼミの講義内で「出前授業」をお願いしたことがあります。やはり、実社会では経験がモノを言いますから、現場の生の声は学生にとって値千金の価値があったと思います。この秋からはその枠を少し広げて、教職の「出前授業」的なものを立ち上げようとしています。同窓生の方々の中には教職に就いている人も100名近くいらっしゃるのです。是非とも同窓生の力をお借りできれば、と考えています。

今話したこと以外でも、同窓会の皆さんにはいろいろな形で母校に来ていただき、是非とも後輩達に叱咤激励をしていただきたい。

また就職面でのサポートもお願いできれば、より心強いですね。

**理事長** やはり同窓会があつて初めて現役生が活きてくると思います。今後とも同窓会との関わりを深めていきたいと思えますね。

**小川** 現役生の為に同窓会ができることは積極的にこなしていきたいですね。また、学長が計画されている教職関連とは違いますが、私たちは同窓会の事業別部会「不動産部会」を昨年立ち上げました。同窓会の活性化の為にも今後この動きを他業種へ広げていければと考えています。



**学長** できれば教職部会も作つていただけると非常に有り難いですね。

**理事長** 母校との関係をこれまで以上に密接な関係に構築していただけるよう行動していただけるかと信じております。大学側も情報を発信し続けますが、同窓会も情報発信をさらに活発にしていきたいですね。

**小川** これだけ学部が増えてくると、同窓会も学部別の代議員や理事の選出等を考えないといけないかもしれません。今後、名古屋・瀬戸、学部、卒業年度など、バランスの取れた体制が急務ですね。そして、私たちが現役生の頃には想像できなかった女子学生のみならず、同窓会の運営に女性の同窓生がたくさん参加していただくような時期も必ず来るでしょうから、その時を見込んで今から取り組んでいきたいと思えます。

**理事長** いずれは学部別の同窓会や女子学生だけの同窓会もでき、細分化された同窓会組織の取りまとめ役が本部の同窓会となる時代が来るかも知れませんね。

**小川** 卒業生が約4万人となり、今後は同窓会のネットワークをいかに上手く機能させ得るかが重要なポイントだと思つています。大学とともに発展する同窓会であり続けるためにも、今後ともよろしくお願いいたします。

—ご多忙の中、多岐に渡りお話しいただきありがとうございました。